



第 6 4 1 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会
編集 三 好 治 雄
発行人
大阪市西区新町 1 丁目 5 番 7 号
四ツ橋ビル
TEL 06(6531) 9 7 1 7・5 9 1 0
定価 1 部 60円

危険物安全週間

全国一斉に 6 月 3 日(日)から

毎年、6 月の第 2 週(日曜日から土曜日までの 1 週間)に、全国危険物安全週間が行なわれます。

今年も 6 月 3 日(日)から 6 月 9 日(土)まで全国で一斉に実施されます。今年 of 安全週間中の重点項目としては、次の各項目が掲げられています。

(1) 危険物施設における保安体制の整備促進

立入検査の集中的実施、危険物事業所への周知等により、以下の事項を推進し、危険物施設の保安体制の整備促進を図ること。

ア 危険物施設の日常点検等による安全対策の推進
危険物施設の事故の多くは管理不十分が原因となっており、また、近年、腐食・劣化による漏えい事故の増加が懸念されていることから、消防法に基づく定期点検に加えて、日常点検を確実に実施するとともに、施設の設置環境や経過年数等に応じた維持管理を実施し、危険物施設の安全対策を推進すること。

イ 自主保安体制の構築

近年増加傾向にあるヒューマンエラー等による事故を防止するためには、事故原因や潜在的な危険要因を的確に分析・把握し、その対策を

講ずることが必要であるため、従業員への保安教育等のもとより、安全管理体制、安全意識等を総合的に検証し、事故防止の徹底、自主保安体制の構築に努めること。

ウ セルフスタンドにおける安全対策の推進

近年、増加が著しいセルフスタンドにおいて、静電気による火災、吹きこぼれ等の事故が発生していることから、顧客への周知徹底、固定給油設備等の維持管理の実施等により、安全対策の推進を図ること。

エ そのほか、平成19年度危険物事故防止アクションプランに掲げる重点項目に沿った事故防止対策の徹底を図ること。

(2) 危険物に関する知識の啓発普及等

- ア 危険物安全週間の趣旨の徹底
- イ 講演会・研修会等の開催
- ウ 関係者が一体となった取組みの推進

また、(財)全国危険物安全協会では消防庁、都道府県、市町村、全国消防長会と共催で、6 月 4 日(月)に全国危険物安全大会で危険物保安功労者及び優良危険物関係事業所等の表彰と記念講演会(講師 今村文彦氏:東北大学大学院 工学研究科附属災害制御研究センター教授)を、また、危険物安全推進講演会を 5 日(火)(東京会場)、7 日(木)(大阪会場:「ホテルアウィーナ大阪」

都市との共存 — 正確 安全 確実 — 危険物設備なら信頼の技研。

危険物タンクの漏洩検査
(平成16年4月1日法改正対応)

- 危険物設備の設計・施工
- 発電設備(非常用)燃料タンクの製造・販売
- 危険物タンクまわりの付属機器の販売

株式会社 技研

〒530-0043 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル TEL.06-6358-9467(代表)

ヤマト油設株式会社

〒592-8352 堺市築港浜寺西町7-2 TEL.072-269-2345

危険物設備の安全をトータルにリードする

GIKEN

大阪市天王寺区)で開催する予定です。

推進講演会の講演内容は次のとおりです。

① 基調講演 「化学産業における安全管理の現状とこれからの課題」

（有）システム安全研究所 所長 高木伸夫 氏

② 事事故事例発表

- ア 東京消防庁
- イ 九州石油㈱
- ウ 川崎市消防局

なお、大阪府においては6月を危険物安全月間と定め、当協会と共催、府下消防長会協賛のもと6月15日(金)、大阪市中央区のKKR HOTEL OSAKAにおいて大阪府危険物安全大会が開催され、記念講演会として総務省消防庁危険物保安室課長補佐 白石暢彦氏による演題「危険物災害の現状と保安対策」が行なわれる予定です。

また、府下の各消防機関でも数多くの記念行事が開催されます。

〈全国危険物安全週間推進標語〉

「危険物 目指せ無事故のMVP」



4月の試験結果

甲種 47.1%、乙種第4類 44.5%

（財）消防試験研究センター大阪府支部では、平成19年度第1回危険物取扱者試験を平成19年4月22日(日)、大阪商業大学（東大阪市）で実施したが、その結果が平成19年5月15日(火)に発表されました。

試験区分別の合格率は、次のとおりです。

平成19年度 第1回危険物取扱者試験結果

区分	受験者数	合格者数	合格率(%)
甲種	227	107	47.1%
乙種第1類	60	49	81.7%
乙種第2類	108	89	82.4%
乙種第3類	89	72	80.9%
乙種第4類	1,880	837	44.5%
乙種第5類	83	68	81.9%
乙種第6類	82	45	54.9%
丙種	125	76	60.8%

第3回 危険物取扱者試験
10月7日(日) 大阪府立大で

（財）消防試験研究センター大阪府支部では平成19年度第3回危険物取扱者試験を平成19年10月7日(日)に大阪府立大学（堺市内）で行なうことになりました。

試験日	10月7日(日) ・乙種第4類(午前・午後) ・甲種、第4類以外の乙種、丙種(午後)
試験会場	大阪府立大学(堺市)
願書受付	8月28日(火)～9月11日(火)必着 (郵送又は持込)
願書受付場所	(財)消防試験研究センター大阪府支部 大阪市中央区谷町2-9-3 ガレリア大手前ビル2F TEL 06-6941-8430

当協会では上記試験に合わせて甲種、乙種第4類及び丙種の受験準備講習会を行ないます。

平成19年度 第3回受験準備講習
合格への近道!

第3回受験準備講習会は、府下9会場で

平成19年度第3回危険物取扱者試験受験準備講習会は、甲種、乙種第4類及び丙種について、大阪市内、堺市内、枚方市内及び高槻市内の会場で開催します。

講習会では過去に出題された問題や傾向を詳細に分析し、経験豊かな講師陣により的確をしばった分かりやすい講習を行なっていますので、受講者は高い合格率を修めています。

なお、平成19年度第2回危険物取扱者試験(6月17日(日):大阪府立大学)を受験される方で、準備講習会受講希望の場合は、当協会へ電話(06-6531-9717)で空席状況をご確認の上、手続きしてください。

申込は郵送(郵便払込)又はインターネット(銀行振込)で

1. 受講申込方法

① 郵送によりお申込みされる場合

a 受講申込書「合格への近道!」は、大阪府下の所轄各消防本部及び各消防署予防課にあります。

受講申込書に必要事項をご記入の上、払込取扱票を切り離して、受講料及びテキスト送料の合計金額を郵便局窓口(窓口取扱時間午後4時まで)で払込んでください。

(その際、手数料が別途必要となります。)

b 郵便局で払込んだ「郵便振替払込受付証明書(お客さま用):準備講習受講申込書添付用、下部に赤マークのついたもの」を受講申込書に貼り付けて、所定の申込用封筒(オレンジ色)で郵送してください。(市販の封筒を使用していただいても結構です。)

c 受講申込書が到着次第、受講券とテキストを送付いたします。

② インターネットでお申込みされる場合

当協会ホームページの「危険物取扱者試験受験準備講習案内」欄を利用してください。

◇当協会ホームページのURL

(<http://www1.odn.ne.jp/~aav74830>)

◇検索して入る方法

・大阪府危険物安全協会で検索

③ 持込でお申込みされる場合

a ご希望の講習日(各コースの初日)の前日まで当協会事務所(大阪市西区新町1-5-7、四ツ橋ビル8F)で受付いたします。(ただし、土・日及び祝日は業務を行っておりません。)

b 申込手続は代理の方でも結構です。

2. 申込期間

① 常時受付いたします。

ただし、ご希望の講習日(各コースの初日)の1週間前までに当協会必着でお願いします。

② 各講習会場とも定員制のため、満席の場合は受付できませんのでお早めにお申込みください。

3. その他

① 受験準備講習会は、甲種は3日間、乙種第4類は2日間、丙種は1日間で実施します。

② 本講習会の録画、録音は禁止いたします。

③ 申込書等に記載されました個人情報、受験準備講習の目的に限って利用させていただきます。

4. 受講料及びテキスト送料(消費税を含んでいます)

① 受講料

種 別	会 員	会 員 外
甲 種	16,800円	18,900円
乙 種 第4類	1～6コース	12,600円
	土日コース	13,650円
丙 種	6,300円	7,350円

② テキスト送料

送料は500円です。

※複数の場合(一括して1ヶ所にお送りする場合)

甲種及び 乙種第4類	2～5人分	600円
	6～10人分	800円
丙 種	2～6人分	500円

地下貯蔵タンク等の漏れの点検はお済みですか?

～平成16年4月1日 法令改正施行～

地下に埋設されたタンクおよび配管の腐蝕を発見することは大変難しく、もし、発見が遅れば大量の漏えい事故につながります。地中に拡散した油等の、回収はとても困難であり、タンクを掘り起こし周囲の土をすべて入れ換えざるを得ない場合もでてきます。このようなことから「地下貯蔵タンクおよび地下埋設配管に係る定期点検(漏れの点検)」の基準が見直され施行されることになりました。



OIL & MAINTENANCE

山田砥油株式会社

〒578-0912 東大阪市角田1丁目8番26号

Tel. 0729-62-4777

Fax. 0729-62-4778

<http://www.ymd-o.co.jp>

各種燃料油販売/危険物施設工事/危険物施設法定点検/危険物貯蔵所等中和洗浄工事/廃油スラッジ等処分

(注)

- 財団法人大阪府危険物安全協会加盟協会会員(会員事業所の社員を含む)は会員価格となります。
- 大学、高校及び各種専門学校の学生については学生割引として受講料は会員価格にいたします。
・学生証のコピーを受講申請書に添付して送付してください。

- ・持込受付される場合は、申込時に学生証(コピー可)を提示してください。
- 準備講習の受講が2回目(同一年度内に限ります)の方に対しては、受講料についてご相談に応じます。
詳細につきましては、06-6531-9717までお問合せください。
- 申込終了後、理由の如何を問わず返金はいたしません。

平成19年度 第3回~第5回
危険物取扱者試験 受験準備講習会 予定表

第3回

種別	講習日	時間	会場	最寄駅
甲種	9月20日(木), 9月26日(水), 9月28日(金)	9時30分~16時	大阪府商工会館	地下鉄 本町駅17号出口よりすぐ
乙種第4類	1コース	9月18日(火), 9月19日(水)	大阪府商工会館	〃
	2コース	9月27日(木), 9月28日(金)	大阪府商工会館	〃
	3コース	9月19日(水), 9月20日(木)	堺市民会館	南海高野線 堺東駅より8分
	4コース	9月26日(水), 9月27日(木)	メセナひらかた	京阪 枚方市駅より4分
	5コース	9月13日(水), 9月14日(木)	高槻市消防本部	JR・阪急 高槻駅より10分
	土日Aコース	9月15日(土), 9月16日(日)	9時30分~16時30分	pia NPO
土日Bコース	9月29日(土), 9月30日(日)	9時30分~16時30分	pia NPO	〃
丙種	10月1日(月)	9時15分~16時30分	四ツ橋ビル	地下鉄四ツ橋駅2号出口よりすぐ

第4回

種別	講習日	時間	会場	最寄駅	
甲種	11月16日(金), 11月20日(火), 11月26日(月)	9時30分~16時	pia NPO	地下鉄 大阪港駅4号出口より4分	
乙種第4類	1コース	11月20日(火), 11月21日(水)	大阪府商工会館	地下鉄 本町駅17号出口よりすぐ	
	2コース	11月29日(木), 11月30日(金)	大阪府商工会館	〃	
	3コース	11月15日(木), 11月16日(金)	10時~16時30分	堺市民会館	南海高野線 堺東駅より8分
	4コース	11月27日(火), 11月28日(水)	10時~16時30分	泉佐野市消防本部	JR・南海空港線 りんくうタウン駅より8分
	5コース	11月13日(水), 11月14日(木)	10時~16時30分	ノバティながの南館	近鉄・南海 河内長野駅よりすぐ
	6コース	11月28日(水), 11月29日(木)	10時~16時30分	茨木市福祉文化会館	JR・阪急 茨木駅より15分
	土日Aコース	11月24日(土), 11月25日(日)	9時30分~16時30分	pia NPO	地下鉄 大阪港駅4号出口より4分
土日Bコース	12月1日(土), 12月2日(日)	9時30分~16時30分	pia NPO	〃	

第5回

種別	講習日	時間	会場	最寄駅	
甲種	1月17日(木), 1月21日(月), 1月23日(水)	9時30分~16時	大阪府商工会館	地下鉄 本町駅17号出口よりすぐ	
乙種第4類	1コース	1月24日(木), 1月25日(金)	大阪府商工会館	〃	
	2コース	1月29日(火), 1月30日(水)	大阪府商工会館	〃	
	3コース	1月17日(木), 1月18日(金)	10時~16時30分	堺市民会館	南海高野線 堺東駅より8分
	4コース	1月22日(火), 1月23日(水)	10時~16時30分	茨木市福祉文化会館	JR・阪急 茨木駅より15分
	土日Aコース	1月26日(土), 1月27日(日)	9時30分~16時30分	pia NPO	地下鉄 大阪港駅4号出口より4分
	土日Bコース	2月2日(土), 2月3日(日)	9時30分~16時30分	pia NPO	〃
丙種	2月4日(月)	9時15分~16時30分	四ツ橋ビル	地下鉄 四ツ橋駅2号出口よりすぐ	

(注) 甲種及び乙種第4類の講習の初日は15分前からオリエンテーションを行ないます。

地下タンク漏れ常時監視装置

(財)全国危険物安全協会
認定番号12・13号



地下タンク点検の事ならお任せ下さい!

安価お見積りをご提示させていただきます。

危険物設備の新設・改造のご相談を受け賜ります。

業務内容

地下タンク漏洩点検、地下タンク埋設工事、地下タンク内清掃、ガソリン計量機の検定・整備・販売、給油機・メーター・ノズル機器等の販売、危険物施設の油配管設備工事、危険物の保安点検・各種の巡回清掃、危険物の各種消防手続、給油所の機器販売、地下タンク計測機器販売

点検業者用の液相部機器販売 日本スタンドサービス株式会社

http://www.nssk.co.jp/ 〒578-0911 本社/大阪府東大阪市中新開2-11-17
TEL: 0729-68-2211 FAX: 0729-68-3900

安全への道 72

有意義な危険物安全週間を

(財)大阪府危険物安全協会

専任講師 三村 和男

今年も6月3日から危険物安全週間が全国展開される。趣旨は、危険物の保安に対する意識の高揚と啓発である。

去る3月には、危険物事故防止に関する基本方針(平成15年設定)に基づく官民一体となった「平成19年度危険物事故防止アクションプラン」が策定された。これによる主要な推進事項は、①潜在的火災危険要因の把握と対策 ②法的点検、日常点検による設備の腐食・劣化防止 ③屋外タンク開放時等における事故防止対策 ④事故情報の共有化による類似事故防止 ⑤地震対策の強化 ⑥保安教育訓練の徹底である。

いずれも特別新しいものではない。近年の危険物施設における事故の実態と近い将来に予想される巨大地震への対応を目的としたものである。

関係行政、団体をはじめ、各事業場で趣旨に沿った種々の行事が行われるであろう。

安全を支えていくのは人である。今回はゼロ災体質の人づくり、設備の腐食・劣化問題について考えてみたい。

ゼロ災体質の人づくり

ここでいう人とは、現場の作業員だけでなく、危険物施設に関わる技術者、管理監督者、作業員、安全スタッフすべてを含む。

ゼロ災人間について筆者は次のように考えている。

- ①なにが危険であるかが分かること。
技術、設備、物質、作業、環境の危険、さらに管理の欠陥による危険、人間の陥る危険(つまりヒューマンエラー)について理解していなければならない。
- ②自分の仕事の基本とはなにかを理解し、その基本を愚直に守り通すこと。
開発を急ぐ、効率アップにとらわれて基本をおろそかにしてはならない。設計の自動化(CAD)、装置・機械の高度自動化は、設計、運転に必要な基本スキルの劣化に大きな影響を及ぼす。いずれも現場、現物、

- 現状を見る、という基本が失われる。
- ③各自の知識、経験の蓄積と、それに基づく適切で、優れた判断ができること。
知識、経験や訓練を身につけていないと、目にうつったものも見えないし、見たことにならないだろう。
JAL123便の御巣鷹山墜落事故で奇跡の生存者の一人落合由美(JALのアシスタントパーサー、当日は客として乗り合わせていた)さんは、機内の様子を次のように証言している「客室が真白になった。ダッチロール(8の字飛行)に入った。……」。これらの証言が原因解明につながったと書き残されている。
- ④どんな環境においても人間と機械の有機的な役割をくずさないこと。
そのためには、設備、機械の設計思想(ノウホワイ)を明確かつ明文化して共有化しなければならない。設計思想を知らないことによる事故は少くない。
- ⑤自分を取り巻く条件(設備、環境など)について、常に問題意識をもち、積極的に安全提言できること。
事故が起こって初めて気がつくことが多い。意思の目を持っていること。

設備の腐食・劣化問題

危険物施設における漏洩事故の原因は、全体の30%が腐食、劣化である。

先述のアクションプランにおいても、重点項目の一つとして法令に基づく点検、日常点検の推進をあげている。

法定点検は、近年、規制緩和の一環としてかなり緩和されてきた。しかし、最近の漏洩事故の実態からまた規制強化の動きがみられる。防災、安全に関する規制緩和については、安易にすべきでない。しかし不合理な点については、大いに見直すべきである、と機会あるごとに言ってきた。

規制は最低限必要なことといわれるが、それとても必ずしも合理的な内容であるか、どうかを考えてみる必要がある。合理的でないこともあり、この場合には法規制上は問題ないが、真の安全確保には問題があるため、自ら考える自主保安が重要である。

最近、設備点検技術も進歩してきている。一例を挙げると、タンクのコーティングを剥すことなく肉厚、欠陥検査ができるとか、保温した配管の検査は超音波信号を入れる箇所のみ保温を外せば、長さ50mまで検査が可能な技術が開発、実用されている。新技術の適用はユーザーの姿勢による。

全員参加により、自ら考えてみる有意義な危険物安全週間でありたい。



固定式泡消火設備の「一体点検時」に
※具体的な点検方法は所轄消防との確認が必要です。

**もしも…! 泡薬剤を放出せずに
泡消火設備の点検ができれば…**

特許出願中

泡消火設備 放射点検用の試験液体



エコブルーを使用することにより泡消火薬剤の混合比率を測定することができ、泡消火設備の健全性を確認することができます。

環境にやさしく
廃棄物ゼロ

点検の実施が
非常に簡単

短時間での
点検実施

泡消火設備の
性能を
適正に確認

ヤマトプロテック株式会社 www.yamatoprotec.co.jp
 本 社 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3446-7151(代)

地区協会ニュース

堺市高石市防災協会連合会の活動

堺市高石市防災協会連合会
会長 隅谷 通男

当連合会は、昭和47年6月に堺市高石市消防組合管内の各消防署の関係団体として活動している各防災協会相互の連絡協調と親睦を図るとともに、市民の防災思想の普及啓発に関する事業の推進、消防の強化並びに消防組合の実施する施策の推進に協力することを目的として発足し、現在、堺、中、東、西、南、北、美原、高石、臨海の9つの防災協会により組織されています。

当連合会の事業といたしましては、「防災思想の普及宣伝」を目的として、毎月1回機関紙「望楼」を発行するとともに、防火カレンダーや火災予防広報用グッズを作成し、各区域で開催されている市民祭りなどの様々なイベントに参加し、広く市民への防災思想の普及啓発に努めているところです。

その中でも、皆様もご承知のとおり、住宅火災の逃げ遅れによる死者が増加してきていることから平成18年の条例改正により住宅用火災警報器の設置が義務付けられたところであり、当連合会といたしましても、昨年11月に総務省消防庁等の後援により消防組合の主催で開催されました「住宅防火対策推進シンポジウム」に協力するとともに、住宅用火災警報器の普及促進をより一層推進するため、各防災協会加入事業所及び構成市職員への住宅用火災警報器の共同購入事業の実施に向けて新たに取り組みを進めているところです。



第24回危険物安全大会(平成18年6月5日 於：堺市民会館)

また、全国的に実施されている危険物安全週間の取り組みといたしまして、危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立を図るため、消防組合では6月を「危険物安全月間」として危険物の保安に対する

意識の高揚及び啓発に取り組まれているところでありますが、その一環として開催されております危険物安全大会に消防組合と共に主催して参画しているところであり、毎年、多数の危険物保有事業所の皆様方にご参加いただいているところです。

その一方で、会員の防火管理及び危険物保安に関する必要な知識技能を育成することを目的としまして、平成18年度から新たに会員への研修を主目的として、防火管理連合部会及び危険物連合部会の2つの部会を設置し、それぞれの部会において、防災に関する幅広い分野の方々に講師を依頼し、年2回の研修会を実施しているところです。

当連合会といたしましては、構成市の堺市が政令指定都市となったことを契機として、輝かしい歴史と伝統ある先人の「進取の気風」「自由と自治」の精神を受け継いだ、個性、創造性、進取性をもった“オンリーワン”の「災害に強い安心・安全なまちづくり」に向け、より一層貢献していきたいと考えています。

第6回「危険物事故防止対策論文」 消防庁長官賞決定

総務省消防庁では、危険物保安技術協会と共催で、危険物施設等における事故事例を教訓とした事故防止対策や事故防止に係る技術の開発・改善等を図るため、「第6回危険物事故防止対策論文」を平成18年11月から平成19年2月まで募集していましたが、平成19年4月20日に応募のあった65編のうちから、消防庁長官賞(2編)並びに危険物保安技術協会理事長賞(2編)及び奨励賞(3編)の受賞者を下記のとおり決定しました。

受賞者と論文要旨

消防庁長官賞

- ・早元一則氏(東ソー株式会社 南陽事業所
塩ビ製造部塩ビモノマー課
第二係一同代表)

「“私達の技術の伝承” プロセスヒヤリハット事例などの教育活用について」

団塊世代の大量退職を控えた今、各企業が抱える大きな問題である「技術の伝承」をテーマとし、要領書に書かれていないノウハウの部分をもどのように伝承していくかについて、自社で実践している技術の伝承活動のひとつである「プロセスヒヤリハット報告書の活用」、「軽微異常処理マニュアルの作成」、「トラブル事例集の作成」、「疑問シートの活用」などの取り組みを紹介している。

・中坪 豊氏

(東京消防庁 葛西消防署 予防課 危険物係)
「老朽化した地下貯蔵タンク等の漏えい事故防止推進
方策について」

管内に存する設置後30年以上経過した地下貯蔵タンク
の防食措置の状況と問題点を掲げ、これらの地下貯蔵
所タンクから危険物を漏えいさせないための方策とし
て、定期点検の重要性を認識させるための巡回指導
を行い、所要の成果が得られたことについて紹介して
いる。

危険物保安技術協会理事長賞

・藤江 誠氏

(札幌市消防局 白石消防署 予防課 防火推進係)
「ホームタンク技術基準改正に伴う取組みについて」

・家舗久義氏

(山辺広域行政事務組合消防本部 予防課 危険物係)
「セルフのガソリンスタンドで給油する際の事故防止
対策」

奨励賞

・平良譲次氏 (東ソー株式会社 南陽事業所
ソーダ製造部電解課 第二係)
「自分たちの職場は自分たちで守る」

・北村 武氏 (日本オイルターミナル株式会社
上田営業所 受託会社(株)ジェイアール
貨物・信州ロジスティクス 所長)
「平成 6 年10月 9 日長野県上田市、当社隣接のモー
ビル油槽所で発生した大火災の教訓について」

・中塚里美氏
「思い違いが事故や夫婦げんかを招く」

平成19年度
保安講習について

保安講習の制度について

この講習は、消防法第13条の23に定められた、法定
講習です。

危険物製造所等(危険物を貯蔵したり取扱っている
施設)で危険物の取扱いに従事している危険物取扱者
(危険物保安監督者も含む)は、定められた期間内に
受講しなければなりません。

定められた受講期限は、原則として危険物の取扱い
に従事した日から、1年以内(ただし、免状を取得し
た日、又は前回受講した日から3年以内)となってい
ます。(規則第58条の14)

また、受講義務者が、受講期限内に受講しないとき
は、消防法違反となり、免状の返納を命じられること
があります。

平成19年度 保安講習受講申請書
府下各消防本部・各消防署で配布

平成19年度の保安講習受講申請書(開催案内・申請
専用封筒(黄色)・専用郵便払込取扱票)は府下各消防
本部及び各消防署予防課で配布しています。

第 1 期分は 6 月27日(水)から 7 月30日(月)まで

受講手数料4,700円は郵便払込で、また、申請は原
則として郵送受付で行っております。1期分は6月18
日(月)から6月21日(木)(当日消印有効)までの間に専用
封筒で当協会までお送りください。

なお、持込受付も可能です。

[持込みされる場合は6月19日(火)から6月20日(水)
までの間に当協会事務所に持込んでください。]

8頁の予定表を参照の上、期間内に送付してください。

【問合せ先】

〒550-0013 大阪市西区新町1-5-7(四ッ橋ビル8階)
財団法人 大阪府危険物安全協会
電 話 06-6531-9717

漏液位置検知システム

トレーステック

ビルや工場からの油、プロセス流体や
ユーティリティ液体等、様々な液体の漏
洩箇所を少量のうちに、敏速かつ正確に
ピンポイントで検出することが可能です。

ピンポイントで漏液位置を検出
漏液位置精度0.1%

様々な液体を検知
TT1000水、TT3000導電性液体、TT5000燃料油、TT5001有機溶剤

柔軟なシステム
1つの検出器で様々な液体の漏洩を検知することができます。

大規模システム、ローコストの実現
センサ回路は1mから最大1500mまで、更にインターフェイスモジュール
を組合せることで大規模システムを構築することができます。

株式会社 工技研究所
http://www.kohgiken.co.jp

営業本部 03(3549)1579 仙台支店 022(236)6451 長野駐在所 026(241)8900 広島支店 082(232)4207 上海連絡事務所 86(21)62763836 グループ会社
営業本部横浜分室 045(934)3798 関東支店 03(3549)1567 金沢駐在所 076(238)4701 福岡支店 092(531)3691 北関東サービス 028(625)5393 工技研長野 026(241)8900
札幌支店 011(785)1361 名古屋支店 052(692)3271 大阪支店 072(224)8421 沖縄連絡所 098(863)1978 工技研北陸 076(238)4701
(株)工技研研究所 06(6354)6681
(有)工技研松江 0852(24)3622

本 社 〒104-0061 東京都中央区銀座7-17-14 松岡銀七ビル6階 TEL 03(3549)1237
大阪支店 〒590-0902 大阪府堺市松屋大和川通2-114-5 工技研ビル TEL 072(224)8421

平成19年度 保安講習会予定表 (平成19年6月27日～平成20年2月18日)

◇受付期間

郵送受付	1期	6月18日(月)～6月21日(木)	消印分
	2期	8月22日(水)～8月27日(月)	消印分
	3期	10月16日(火)～10月19日(金)	消印分
	4期	1月25日(金)～1月30日(水)	消印分

持込受付	1期	6月19日(火)～6月20日(水)
	2期	8月23日(木)～8月24日(金)
	3期	10月17日(水)～10月18日(木)
	4期	1月28日(月)～1月29日(火)

◇一般の部

期別	回	実施日	曜日	講習会場	開始時間	
1期	1	6月27日	水	大阪府商工会館	13:30	
	2	6月29日	金	大阪府商工会館	13:30	
	3	7月3日	火	吹田メイシアター	13:30	
	5	7月6日	金	大阪府商工会館	13:30	
	6	7月9日	月	大阪府商工会館	13:30	
	7	7月12日	木	テクスピア大阪泉大津	13:30	
	8	7月13日	金	*堺市民会館	13:30	
	10	7月18日	水	*堺市民会館	13:30	
	14	7月24日	火	岸和田浪切ホール	13:30	
	15	7月25日	水	泉佐野市消防本部	13:30	
	17	7月27日	金	大阪府商工会館	13:30	
	18	7月30日	月	貝塚市民福祉センター	13:30	
	2期	19	9月5日	水	豊中市消防本部	13:30
		20	9月6日	木	豊中市消防本部	13:30
		21	9月7日	金	松原市消防本部	13:30
		22	9月11日	火	茨木市福祉文化会館	13:30
		23	9月12日	水	茨木市福祉文化会館	13:30
		28	9月25日	火	大阪府商工会館	13:30
29		9月27日	木	和泉市立大権文センター	13:30	
33		10月4日	木	*堺市民会館	13:30	
35		10月9日	火	大阪府商工会館	13:30	
36		10月10日	水	守口市会館	13:30	
43		10月19日	金	八尾市消防本部	13:30	
44		10月29日	月	大阪府商工会館	13:30	
3期		46	11月5日	月	メセナひらかた	13:30
		47	11月7日	水	メセナひらかた	13:30
		48	11月12日	月	大阪府商工会館	13:30
	49	11月16日	金	富田林市消防本部	13:30	
	50	11月19日	月	柏羽藤消防本部	13:30	
	51	11月22日	木	大東市消防本部	13:30	
	52	11月26日	月	高槻市消防本部	13:30	
	53	11月27日	火	高槻市消防本部	13:30	
	54	12月4日	火	吹田メイシアター	13:30	
	55	12月7日	金	大阪府商工会館	13:30	
4期	56	2月5日	火	大阪府商工会館	13:30	
	57	2月6日	水	東大阪市民会館	13:30	
	58	2月8日	金	東大阪市民会館	13:30	
	59	2月13日	水	茨木市福祉文化会館	13:30	
	60	2月14日	木	*堺市民会館	13:30	
	61	2月18日	月	大阪府商工会館	13:30	

◇化学工場の部

期別	回	実施日	曜日	講習会場	開始時間
1期	9	7月17日	火	大阪府商工会館	13:30
	12	7月20日	金	大阪府商工会館	13:30

◇コンビナートの部

期別	回	実施日	曜日	講習会場	開始時間
2期	24	9月13日	木	*堺市民会館	13:30
	25	9月14日	金	*堺市民会館	13:30
	27	9月21日	金	*堺市民会館	13:30
	30	9月28日	金	*堺市民会館	13:30
	32	10月3日	水	住友金属工業(株)	13:00
	37	10月11日	木	*堺市民会館	13:30
	38	10月12日	金	*堺市民会館	13:30
	39	10月16日	火	*堺市民会館	13:30
	41	10月17日	水	住友金属工業(株)	13:00
	45	10月30日	火	*堺市民会館	13:30

◇給油取扱所の部

期別	回	実施日	曜日	講習会場	開始時間
1期	4	7月4日	水	*堺市民会館	13:30
	11	7月19日	木	大阪府商工会館	13:30
	13	7月23日	月	大阪府商工会館	13:30

◇タンクローリーの部

期別	回	実施日	曜日	講習会場	開始時間
2期	26	9月15日	土	大阪府トラック総合会館	9:30
	31	9月29日	土	大阪府トラック総合会館	14:00
	34	10月4日	木	*堺市民会館	17:30
	40	10月16日	火	*堺市民会館	17:30

- 注 1. 各会場とも駐車場は使用できません。
 ただし、会場欄中*印は有料駐車場があります。
 2. 講習時間は3時間です。

HATSUTA
E-COSS-DRY & WET

ハツタのエコサイクルシステム

ハツタの「粉末消火薬剤エコサイクルシステム」は、回収した薬剤の異物・変質物を確認・除去し、ハツタ独自のシリコン処理、水分の除去を行って均質化し、原料化するものです。その後、蛍光X線分析装置による厳しい検査に合格し、現行製品と同等の性能・品質を有するものだけが消火薬剤としてリサイクルされます。消火薬剤をリサイクル使用することは「限りある資源の有効利用」と「地球環境汚染防止」に貢献でき、環境問題に取り組むハツタとしても今後さらに力を注いでまいります。



E-COSS-DRY series ECOBASE ECO BOX



株式会社 初田製作所
http://www.hatsuta.co.jp